



# ふじみだい

## 感謝を込めて

校長 山本 加奈代

夏に芽をつけてから一度長い冬に耐えて春先に咲き始める梅は、昔から春の訪れを知らせる喜びの象徴とされています。この時期になると、服部嵐雪の詠んだ「梅一輪 一輪ほどの暖かさ」という句が思い出されます。一輪ほどの暖かさとは、どんな暖かさなのでしょう。凜とした冷たい空気の中にも、梅一輪ほどのほんのかすかな春を感じる暖かさが、私たちの心も温めてくれるようです。

今年は開花が一段と早く、各地から梅の便りが届いています。かぐわしい香りの梅に始まり、これからは桃の節句、桜の開花と、植物も一気に春に向かっていきます。そして、学年目標「MOVE ～学校を動かす 人の心を動かす」を掲げ、富士見台小学校の最高学年として範を示してきた6年生96名も、19日に卒業式を迎えます。6年前、保護者の皆さんが夢や希望を詰め込んで背負わせてくださったランドセルの中に、今は、子どもたちの豊かな人生を導く知識や知恵、経験がたくさん詰め込まれていることでしょう。また、ご家族や地域の皆様の愛情もたくさん詰め込まれています。これまで支えていただきました皆様に、改めて感謝申し上げます。



下級生や友達のことをいつも大切に想って過ごしてきた素晴らしい6年生の門出を、19日の「卒業生を送る会」では在校生全員で心からお祝いしたいです。

今年度も残り一か月となりました。学習のまとめを行い、新しい学年に向かって充実した一か月にしたいです。新しい学年を迎えるこの時期は、学校としても一人ひとりの子どもの成長を見つめるとても大切な時期です。本校では、子どもに寄り添った教育を各教室で行っています。例えば、ペア学習やグループ学習を取り入れて互いに教え合う場面を設定したり、発言が苦手な児童が少しでも安心して授業に参加できるように、ノートの記事を通して担任と対話を行ったりしています。また、視覚的な資料を提示したり、できるだけ分かりやすい指示をしたりしています。このような特別支援教育を今後も続けていきます。指導者である私たちも一人ひとりの児童に合った指導を模索しています。保護者や地域の皆様と一緒に考え、共に子どもたちの成長を喜び、今後も誰もが安心して学び、学校生活を送れるような富士見台小学校でありたいと考えております。

この一年間、保護者・地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今後ともご支援とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

2月末の授業参観等の行事変更にご理解いただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染防止に向けて、学校でも引き続き取り組んでまいります。